

「炭鉱遺産活用基本構想」を 策定しました



炭鉱遺産の保存・継承と活用は、赤平市しごと・ひと・まち創生総合戦略の中で重点施策として位置づけられています。赤平市は、国内でも貴重な歴史的建造物・資料として評価されている炭鉱遺産を保存・継承し、幅広く活用するため、「赤平市炭鉱遺産活用基本構想」を策定しました。

炭鉱遺産活用 基本構想とは？

赤平市には大小たくさんの炭鉱が存在し、石炭の産出を通して日本の産業発展を支えてきました。すべての炭鉱が閉山となって二十数年が経過しても、赤平市を語るうえで炭鉱の歴史は欠かすことができません。

現在、市内には炭鉱の歴史を物語る建物や資料が残されています。その中でも、かつて「東洋一」と言われた立坑は、全国の炭鉱遺産と比較しても保存状態がよく、建屋内部に入ることができるとはとても特徴的で、学術的に大変貴重な建物です。

市は総合戦略の中で、こうした建物や資料といった「炭鉱遺産」の保存・継承、活用を重点施策として位置づけ、郷土史という枠を超えて、日本の産業史を語る遺産として保存・継承すべきものと考えています。

そして今年5月、施策の具体的な方向性を示すため、炭鉱遺

産活用検討協議会での協議と、市民説明会での皆さんからのご意見を参考に、「赤平市炭鉱遺産活用基本構想」を策定しました。『ゾーニング図、事業費(概算)に関する資料は3ページを参照」

ご意見をもとに
構想案を見直しました

当初、基本構想の案の段階では、将来整備を重ねた最終形をイメージし、ゾーン分けをした全体像を市民の皆さんに提案しました(広報4月号参照)。

しかし、市民説明会でいただいたご意見をもとに慎重に議論した結果、構想案の見直しを行い、スポーツ・多目的ゾーンや遊びのゾーンなどの整備をとりやめることとしました。

【基本構想】 5カ年の方向性を示します

今回策定した基本構想では、当面5カ年の短期間でめざす整備の方向性をとりまとめました。まずは立坑などの劣化を防ぎ、

保存するための緊急的改修を行います。また、炭鉱遺産を見学する前に資料などで学んでいただけのように、ガイダンス施設の建設を進めます。基本構想の5カ年で、立坑ゾーンや坑口浴場ゾーンなど、歴史的な建物を保存・継承するゾーンに特化した整備を行っていきます。

多くの方々に赤平市の炭鉱遺産の魅力を知っていただく活動が続けながら、あらためて6年目以降に向けた活用の構想を検討します。

【基本構想】 文化財指定を目指します

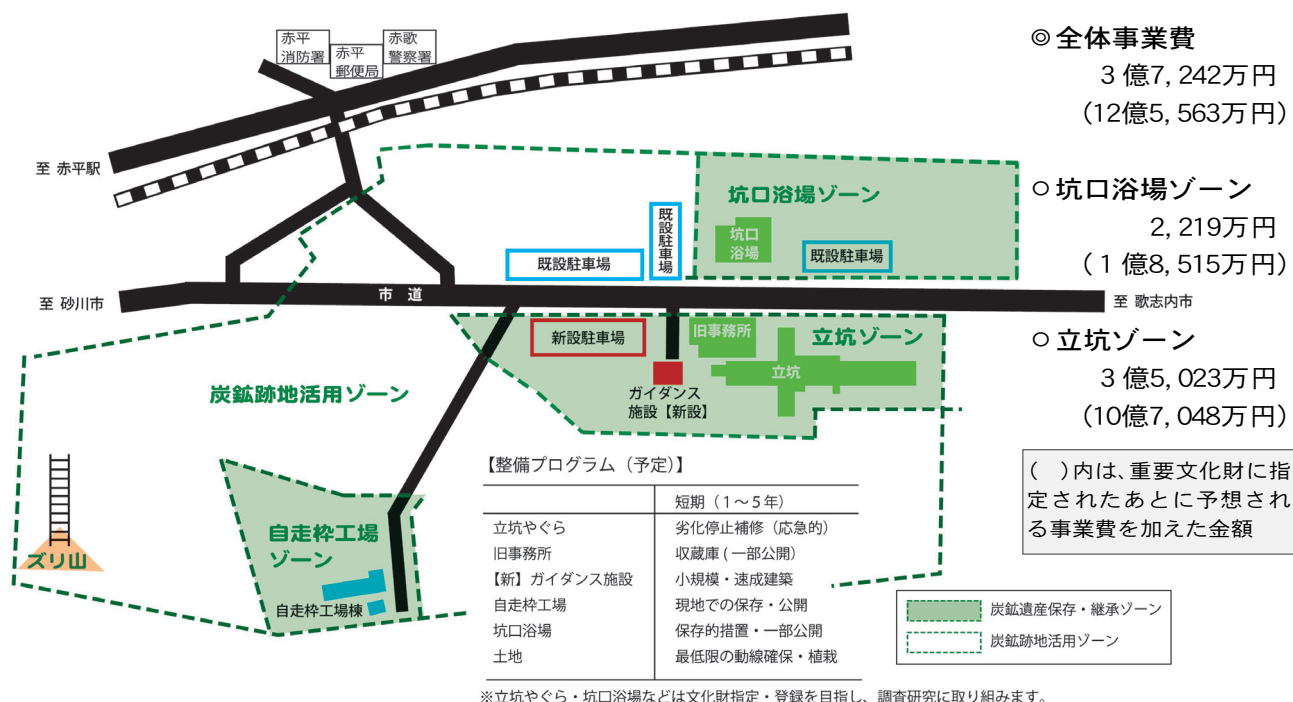
炭鉱遺産の文化財の指定・登録に向けた取り組みを行っていきます。重要文化財に指定された場合、その段階で初めて耐震補強などの長期的改修を検討したいと考えています。なお、文化財指定・登録の結果によって、将来整備していく内容や事業費などが当初の見込みから大きく変わる可能性があります。

※事業費の表(3ページ)の中で長期的改修の費用を示していますが、これについては重要文化財に指定された場合に再度積算を行い、事業の実施を検討します。



炭鉱遺産活用の基本構想

【ゾーニング・将来イメージ図】



炭鉱遺産施設の保存・継承・活用のための事業費（立坑櫓・事務所棟・浴場棟・ガイダンス施設）

（単位：円）

構想期間中に実施する事業	区 分	事 業 費	財源・国からの財政措置額	市実質負担	償還金年額・償還期間
	緊急的改修	116,620,000	過疎対策事業債 81,634,000	34,986,000	2,058,000（17年）
	ガイダンス施設	255,800,000	国庫支出金 127,900,000	63,950,000	3,197,500（20年）
			補正予算債 63,950,000		
重要文化財に指定されたあとに見込まれる追加事業	区 分	事 業 費	財源・国からの財政措置額	市実質負担	償還金年額・償還期間
	長期的改修 耐震関係※	883,210,000	国庫支出金 574,086,500 過疎対策事業債 216,386,450	92,737,050	5,455,121（17年）

※長期的改修・耐震関係の金額は赤平市が積算した現時点での概算です。将来、実際に重要文化財の指定を受けた場合には、文化庁の指定業者が工事の積算を行うため、事業費が大きく変動することが予想されます。

赤平市炭鉱遺産活用検討協議会における検討の経過

協議会委員名簿

会 長	吉岡宏高〔NPO法人炭鉱の記憶推進事業団理事長・札幌国際大学教授〕
副会長	三上秀雄〔赤平コミュニティガイドクラブTANtan代表〕
委 員	酒井祐司〔炭鉱の記憶推進事業団常務理事〕 吉田 勲、田口直明、土屋 満、大橋二郎、植村真美〔TANtan〕 （※植村氏は第1回協議会のみ参加） 蒲原英二、白取伸司、井上博登〔赤平市文化財保護室〕 熊谷 敦、高橋雅明、林 賢治〔赤平市建設課〕
事務局	伊藤寿雄、佐藤文計、松本賢太〔赤平市企画財政課〕

※敬称略、〔 〕内は所属・肩書など

協議会の検討状況について

一平成28年一		
第1回	7月4日	炭鉱遺産公園の目標と目的別エリアについて委員から提案
第2回	8月2日	目標と目的別エリアの検討
第3回	9月5日	基本目標についての内容確認
第4回	10月4日	目指すべき姿や基本方針などの基本構想案の骨格ができる
第5回	11月1日	財源、国の交付金活用の検討
第6回	11月10日	具体的活用に向けての検討
第7回	11月29日	立坑の補修・運営に関する検討
一平成29年一		
第8回	1月31日	一度にすべて整備するのではなく段階的に行う方針を確認

※詳しくは市のホームページをご覧ください。